

2020.12.17 第8回審議会資料

これまで審議会では、計7回の会議を開催し、意見交換を行い、それぞれの検討テーマについて審議会としての方向性を示してきました。今回は、これまでの方向性を基に答申に向けてその骨子を整理します。

■ 諮問事項「宮代町立小中学校の適正配置計画等の検証」に対する答申の骨子（案）

検証の結果、宮代町立小中学校の適正配置に関する基本方針（平成27年8月）及び宮代町立小中学校適正配置計画（平成28年3月）（以下、「適正配置計画等」という。）は、妥当である。

ただし、小学校については、今後の児童数の見込みを考慮すれば、当分の間は4校を維持すべきである。

また、中学校を1校へ再編・統合するにあたっては、通学に関する子供たちの安全性を十分に確保することが必要である。

■ 諮問事項「学校環境を取り巻く環境の変化を踏まえた今後のあり方」に対する答申の骨子（案）

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、国において検討されている「少人数学級」及び平成28年4月に導入された「義務教育学校」制度について検討した結果、現時点においては、適正配置計画等への影響を考慮する必要はない。

ただし、国において少人数学級への動きがあり、学校規模に関わるテーマが具現化した場合は、必要な検討を行うべきである。